

児童・生徒及び地域や家庭への周知について

「ふっさっ子スタンダード」は、本市独自の取組です。そのため、児童・生徒自身に「ふっさっ子スタンダード」を意識させ、親しみをもたせるとともに、家庭や地域へ周知することが大切であると考え、次の取組を推進します。

1 児童・生徒への周知

- (1) 入学する小・中学校の新入生に対しては、小学校スタンダードは下敷きに、中学校のスタンダードはクリアファイルに、それぞれ印刷して配布します。
- (2) 在校生に対しては、iPad を起動する際の画面の壁紙として「学び方スタンダード」を共通に設定し、iPad を使用するたびに、いつでも内容を確認できるようにします。
- (3) 「学び方スタンダード」のポスターを作成し、各学級の教室内に掲示します。

2 家庭や地域への周知

- (1) ふっさっ子の広場や、学童にも、「学び方スタンダード」を掲示し、放課後支援に関わる方々も内容を確認できるようにします。
- (2) 教育広報「福生の教育」や、市教育委員会ホームページに、「ふっさっ子スタンダード」を掲載します。
- (3) PTA 連絡会や CS 委員会、町会長協議会や幼稚園・保育園園長会等に市職員が参加して周知します。

改定版「ふっさっ子スタンダード」

令和4年3月

編集・発行 福生市教育委員会教育部教育指導課
所在地 〒197-8501 東京都福生市本町5番地
電話番号 042-551-1538

福生市立学校の先生方へ

改定版

ふっさっ子スタンダード

～全児童・生徒の望ましい学習習慣や生活習慣の定着を目指して～

福生市教育委員会は、児童・生徒が望ましい学習や生活の習慣を身に付けることを目的に、平成27年3月に「ふっさっ子スタンダード」を策定し、本市の全小・中学校が、目指すべき学び方や家庭での生活の仕方について、家庭・地域の方々と共有し、児童・生徒への指導にあたってまいりました。

一方、「ふっさっ子スタンダード」は、策定してから7年が経過いたしました。この間、学習指導要領の改訂や、新型コロナウイルス感染症への対応、GIGAスクール構想に基づく一人1台 iPad の配布等、児童・生徒を取り巻く学習環境や生活環境が大きく変容しました。

そこで、令和3年度に内容の見直しを行いました。

改定にあたっては、現行の「ふっさっ子スタンダード」を基本としつつ、修正すべき点や追記したい内容等について、各学校の児童会・生徒会を通じて子どもたちの意見を募るとともに、校長会、市内全小中学校の教職員、各校のPTA及びPTA連合会、各コミュニティ・スクール委員会、市内幼稚園・保育園園長会からも御意見を頂きました。

今回の改定のポイントは、以下の4点です。

- | | |
|------------|--------------|
| 1 主体性の育成 | 3 情報活用能力の育成 |
| 2 自己調整力の育成 | 4 新しい生活様式の追加 |

福生市立学校の先生方におかれましては、「ふっさっ子スタンダード」について理解を深めるとともに、本資料の活用例を参考に、家庭や地域とも連携しながら、全児童・生徒に望ましい学習習慣や生活習慣が定着するように指導することを期待しています。

令和4年3月
福生市教育委員会

改訂版「ふっさっ子 スタンド」

幼稚園・保育園版

幼稚園・保育園生の保護者の皆さんへ

「幼稚園・保育園生 家庭生活10ヶ条」
～子育てをする上で大切にしたい10の項目～

- 一人からあいさつを見本を示しましょう。
- 「早ね早おき朝ごはん」の生活リズムを作りましょう。
- 欲しいものを何でも与えず、がまんすることの大切さを教えましょう。
- 子どもができる手伝いをさせましょう。
- 遊びや生活のなかで、ルールやきまりを教えましょう。
- 子どもの「なぜ？」を大切にしましょう。好奇心の芽を育てましょう。
- 子どもと一緒に片付けをしましょう。
- 整理整頓の気持ちよさを子どもと共有しましょう。
- 絵本の読み聞かせをしましょう。絆と学力の種になります。
- たくさんスキンシップしてあげましょう。
- できたことをたくさんほめてあげましょう。
- 家族で過ごす時間を大切にしましょう。

令和4年4月
福生市子ども家庭部 福生市教育委員会

小学校版（学び方スタンダード・家庭生活10ヶ条）

「小学生 学び方スタンダード」

- 「チャイム着席」をしよう。次の授業の準備は、休み時間にすませよう。
- 授業の始めと終わりには、しぜいを正し、元気づけあいさつしよう。
- 「ペンピタ・グー」よい姿勢で、授業に集中しよう。
- 背筋は「ピン」、足の裏は「ピタ」、お腹と机の間は「グー」
- 鉛筆は3本の指で正しく持とう。
- iPad を文房具のようにいつでも使おう。
- ノートに書くときは下敷きを使おう。文字は、いねいに書こう。
- 線を引くときは、定規を使おう。
- 発表するときは、黙ってまっすぐ手をあげよう。
- 名前をよべたら「ハイ」と返事して、起立しよう。
- 話すときは、声の大きさを考え、いねいな言葉で話そう。
- 聞くときは、話す人を見て、静かに最後まで聞こう。
- 自分の持ち物には、名前を書いて、大切に使う。

令和4年4月
福生市教育委員会

「小学生 家庭生活10ヶ条」
～毎日実行したい生活習慣～

- 自分から笑顔で元気づけあいさつしよう。
- 「早ね早おき朝ごはん」を実践しよう。
- 毎朝検温し、うがい・手洗いは「まめに」しよう。
- 自分ができる手伝いを毎日続けよう。
- iPad、スマートフォン、パソコン、テレビ、ゲームは、家族と話し合って利用時間を決めよう。決めたルールを守ろう。
- 家庭学習は、学年×10分以上取り組もう。
- いろいろな種類の本を読もう。
- 学校からのプリントやテストは、必ず家族に見せよう。
- 明日の準備は、今日のうちにしよう。
- その日のできごとを家族に話したり、日記に書いたりしよう。

福生第__小学校 名前__

中学校版（学び方スタンダード・家庭生活10ヶ条）

「中学生 学び方スタンダード」

- 「チャイムとともに始まる授業」準備は、休み時間にすませよう。
- 授業の始めと終わりは、姿勢を正して、いねいにあいさつしよう。
- 正しい姿勢で授業に集中しよう。
- 先生の話に集中し、要点など大切なことを、頭と心に留めよう。
- iPad の効果的な使い方を考えよう。
- インターネットの利用時は、情報モラルを意識しよう。
- 動画サイト等、使い過ぎに注意しよう。
- わからないことは、そのままにしない。すすんで先生に質問しよう。
- iPad 等を使って自ら調べよう。
- 話すときは、話の中心がわかるように、順序を考えて、丁寧な言葉づかいで、最後まではっきりと話そう。
- 聞くときは、話す人を見て、大切なことはメモをとり、意見が言えるように、質問ができるように心がけて聞こう。
- 提出物は、期限内に提出しよう。

令和4年4月
福生市教育委員会

「中学生 家庭生活10ヶ条」
～毎日実行したい生活習慣～

- 自分から笑顔で元気づけあいさつしよう。
- 「早寝早起き朝ごはん」毎朝の検温
- 「まめに」うがい・手洗いを実践しよう。
- 国内外のニュースに関心をもち、自分の意見をもとう。
- 自分ができる手伝いを毎日続けよう。
- iPad、スマートフォン、パソコン、テレビ、ゲームは、家族と話し合って利用時間を決めよう。決めたルールは守ろう。
- 計画を立てて、家庭学習に取り組もう。
- 学校のテスト類は、必ず見直し、保管しておこう。
- 八 集中して読書に取り組む時間をもとう。
- 九 学校からの配布物は、必ず家族に見せよう。
- 十 日記をつけるなど、一日の終わりに生活を振り返る習慣をもとう。

福生第__中学校 名前__

この「ふっさっ子スタンダード」を、次の場面等で指導・活用することをお願いします。

1 学級・学年での指導

- (1) 学級・学年目標と関連付けて、取組の重点を設定する。
- (2) 月ごとの生活目標と関連付けて、全校朝会等で、全児童・生徒及び教職員で目標を共有する。
- (3) 月末・学期末に振り返りの場面を設け成果と課題を確認する。

2 生活指導主任会、幼保小・小中連絡会等で活用

- (1) 各学校の「ふっさっ子スタンダード」活用実践の報告を通して、児童・生徒の課題を把握したり、好事例について共有したりする。
- (2) 「小1プロブレム」、「中1ギャップ」の解消に向けて「ふっさっ子スタンダード」を柱にした接続期の教育活動の見直し・改善を検討する。

3 地域や保護者と連携した指導

- (1) 学校だよりの巻頭言で「ふっさっ子スタンダード」を活用した取組・指導内容を取り上げる。
- (2) 保護者会・PTA 連絡会・CS 委員会等の協議会・懇談会で取り上げる。
- (3) 学校評価の項目に位置付け、学校経営方針・教育課程の改善に生かす。